

凡例

- 計画地
- 調査範囲
- 爬虫類確認位置



1:5,000

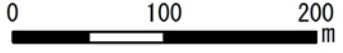
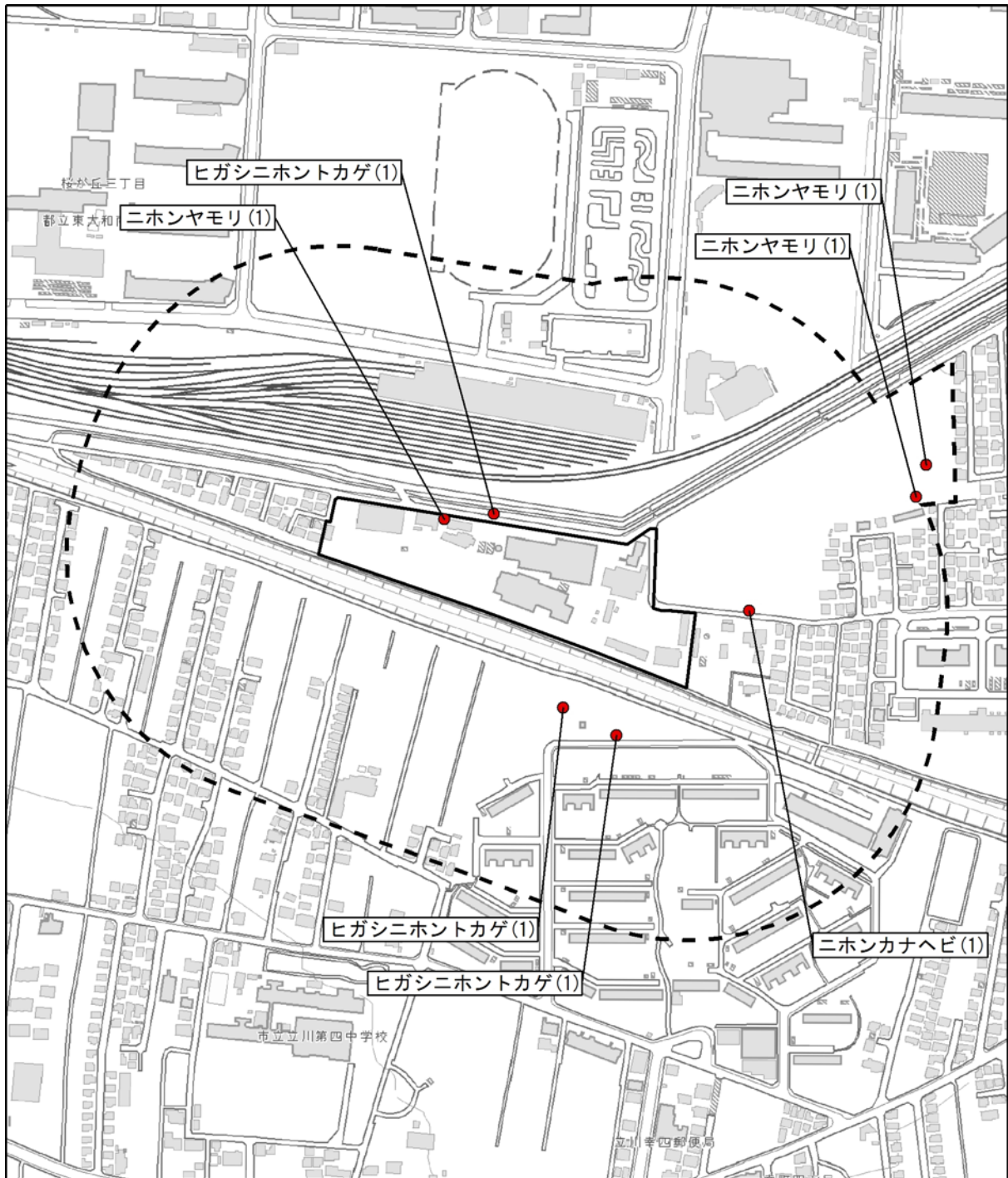


図 8.7-7(2)
爬虫類の注目される種確認
位置図 (夏季)

()内は確認個体数を示す。



凡例

□ 計画地

--- 調査範囲

● 爬虫類確認位置



1:5,000

0 100 200 m

図 8.7-7(3)
爬虫類の注目される種確認
位置図 (秋季)

()内は確認個体数を示す。

(d) 昆虫類

i 確認状況

現地調査結果は表 8.7-15 に示すとおり、14 目 170 科 541 種の昆虫類を確認した。確認種は、アキアカネ、ショウリョウバッタ、マルカメムシ、ナナホシテントウ、ウラナミシジミ等、都市近郊の緑地や耕作地等で一般的に確認できる種が多く見られた。また、樹林性のコロギス、アオオサムシ、トゲアリ、コシロシタバ等、草地性のホシササキリ、ショウリョウバッタモドキ、ミドリヒョウモン等が確認された。なお、調査方法毎の確認種一覧は、資料編 (p.242~262 参照) に示すとおりである。

表 8.7-15 昆虫類の確認種一覧

No.	目名	科数	種数	主な確認種
1	トンボ	4	8	アジアイトトンボ、ギンヤンマ、アキアカネ等
2	ゴキブリ	2	3	ヤマトゴキブリ、モリチャバネゴキブリ等
3	カマキリ	1	3	ハラビロカマキリ、コカマキリ、オオカマキリ
4	シロアリ	1	1	ヤマトシロアリ
5	バッタ	11	23	エンマコオロギ、コロギス、ショウリョウバッタ等
6	ナナフシ	1	1	ナナフシモドキ
7	ハサミムシ	2	2	ヒゲジロハサミムシ、ミジンハサミムシ
8	カメムシ	30	80	アブラゼミ、ヒシモンヨコバイ、マルカメムシ等
9	アミメカゲロウ	2	6	ミドリヒメカゲロウ、アミメクサカゲロウ等
10	コウチュウ	44	216	アオオサムシ、カブトムシ、タマムシ等
11	ハチ	16	63	クロオオアリ、キアシナガバチ、キムネクマバチ等
12	ハエ	30	51	セスジユスリカ、ホソヒラタアブ、ミドリバエ等
13	トビケラ	6	8	モリシタクダトビケラ、コガタシマトビケラ等
14	チョウ	20	76	ホタルガ、クロアゲハ、ミドリヒョウモン等
計	14 目	170 科	541 種	-

ii 注目される種

注目される種を選定した結果、表 8.7-16 に示すとおり、6 目 10 科 12 種が該当した。

注目される種の確認状況は表 8.7-17 に、確認地点は図 8.7-8 に示すとおりである。また、一般生態等は資料編 (p.274~276 参照) に示すとおりである。

表 8.7-16 昆虫類の注目される種一覧

No.	目名	科名	和名	①	②	③	④	⑤
1	バッタ	コオロギ	クマスズムシ				DD	DD
2		バッタ	ショウリョウバッタモドキ				VU	VU
3	カメムシ	セミ	ヒグラシ				NT	
4	コウチュウ	ヒゲブトハナムグリ	ヒゲブトハナムグリ				NT	
5		コガネムシ	シラホシハナムグリ				CR	CR
6			クロカナブン				NT	
7		カミキリムシ	ノギリカミキリ				NT	NT
8			ホタルカミキリ				NT	NT
9		ハチ	アリ	トゲアリ			VU	
10	スズメバチ		モンズズメバチ			DD		
11	ハエ	クロバエ	ミドリバエ					*
12	チョウ	ヤガ	コシロシタバ			NT		
計	6目	10科	12種	0種	0種	3種	8種	6種

注1) 種名、配列等は、原則として「日本産野生生物目録 無脊椎動物編Ⅱ」(平成7年、環境庁)に準拠したが、その後、和名や学名等が変更された種については、最新の文献や図鑑等に基づいて修正した。

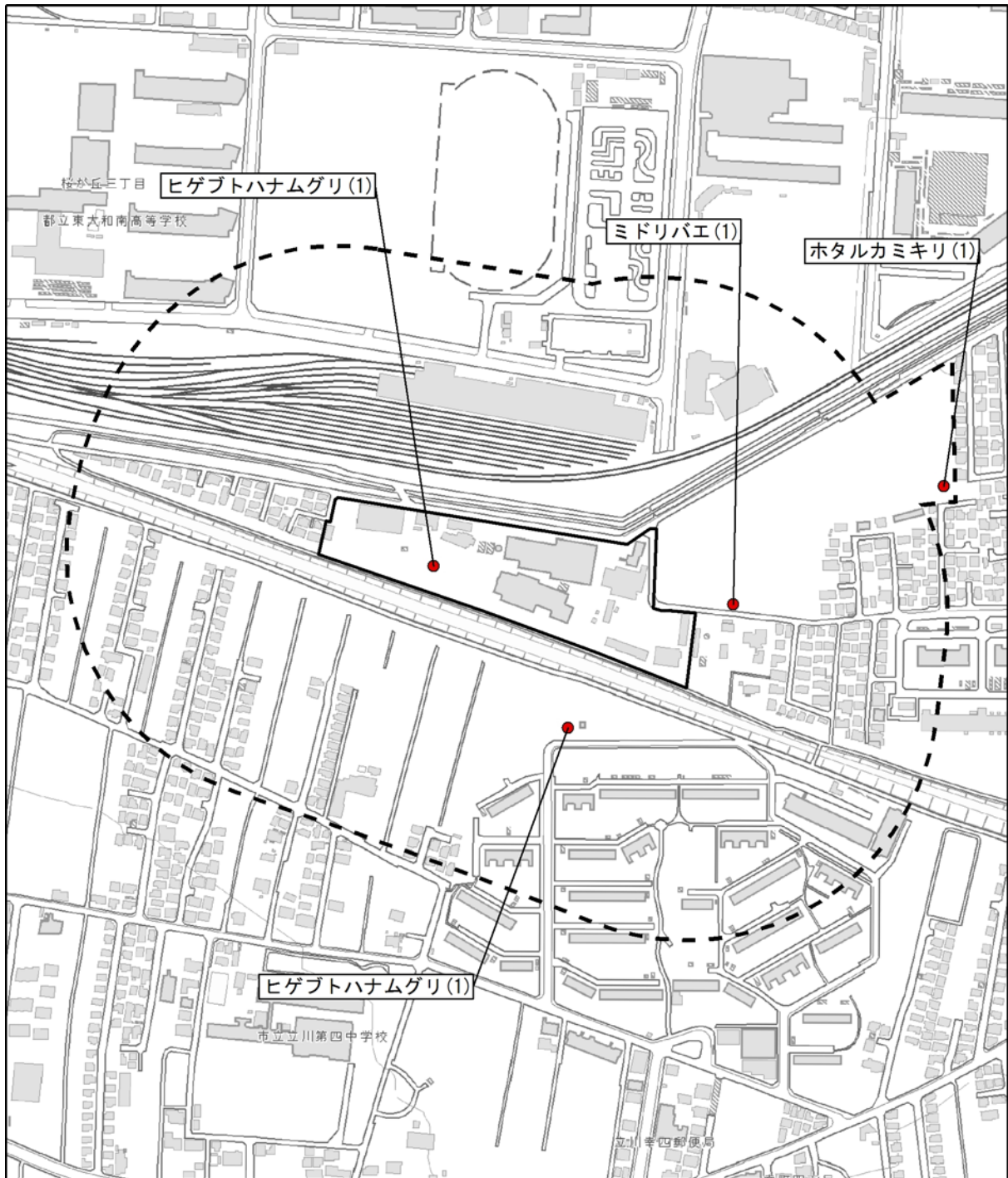
注2) 注目される種の選定基準は以下のとおりである。

- ①: 「文化財保護法」(昭和25年、法律第214号)、東京都文化財保護条例(昭和51年東京都条例第25号)に基づく天然記念物
- ②: 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年、法律75号)に基づく国内希少野生動植物種
- ③: 「環境省レッドリスト2018の公表について」(平成30年5月、環境省)の掲載種
VU: 絶滅危惧Ⅱ類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足
- ④: 「レッドデータブック東京2013(本土部)」(平成25年3月、東京都)の掲載種 ※評価の地域区分は調査範囲の位置する「北多摩」とした。
CR: 絶滅危惧ⅠA類、VU: 絶滅危惧Ⅱ類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足
- ⑤: 「レッドデータブック東京2013(本土部)」(平成25年3月、東京都)の掲載種 ※評価の地域区分は調査範囲の位置する「本土部」とした。
CR: 絶滅危惧ⅠA類、VU: 絶滅危惧Ⅱ類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、*: 留意種

表 8.7-17 注目される種（昆虫類）の確認状況

No.	種名	確認位置				確認状況
		計画地内		計画地外		
		箇所数	個体数	箇所数	個体数	
1	クマスズムシ	0	0	1	1	秋季に緑道の1ヶ所で1個体が確認された。
2	ショウリョウ バッタモドキ	0	0	4	10	夏季に市街地の1ヶ所で1個体、秋季に市街地の3ヶ所で9個体が確認された。
3	ヒグラシ	1	2	1	10	夏季に計画地及び緑道の計2ヶ所で12個体が確認された。
4	ヒゲブト ハナムグリ	1	1	1	1	春季に計画地及び耕作地の計2ヶ所で2個体が確認された。
5	シラホシ ハナムグリ	0	0	3	5	初夏に樹林地の1ヶ所で1個体、夏季に樹林地の計2ヶ所で4個体が確認された。
6	クロカナブン	0	0	2	3	夏季に樹林地の計2ヶ所で3個体が確認された。
7	ノコギリ カミキリ	0	0	1	1	初夏に緑道の1ヶ所で1個体（死骸）が確認された。
8	ホタルカミキリ	0	0	1	1	春季に樹林地の1ヶ所で1個体が確認された。
9	トゲアリ	0	0	3	12	初夏に樹林地の1ヶ所で10個体、夏季に樹林地の1ヶ所で1個体、秋季に樹林地の1ヶ所で1個体が確認された。
10	モンスズメバチ	0	0	5	14	夏季に樹林地の計2ヶ所で5個体、秋季に樹林地及び緑道の計3ヶ所で9個体が確認された。
11	ミドリバエ	0	0	1	1	春季に樹林地の1ヶ所で1個体が確認された。
12	コシロシタバ	1	1	3	5	夏季に計画地及び緑道の計2ヶ所で3個体、秋季に樹林地及び緑道の計2ヶ所で3個体が確認された。

注1) 確認位置において、「箇所数」は確認した箇所数、「個体数」は確認した個体数を示す。



凡例

- 計画地
- 調査範囲
- 昆虫類確認位置



1:5,000

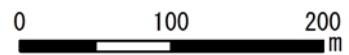


図 8.7-8(1)
昆虫類の注目される種確認
位置図 (春季)

()内は確認個体数を示す。